

令和8年度 教育事業（指導者養成事業）

カヌー指導者養成講座

（1年目）

主催 独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立大洲青少年交流の家
期 日 令和8年7月16日(木)～7月17日(金) 1泊2日
場 所 国立大洲青少年交流の家
対 象 カヌーや水辺の活動指導者の方、また指導者を目指している
18歳以上の方
参加人数 8名（一般の方）
参加費 5,000円
講 師 大谷 裕之 氏（国立大洲青少年交流の家 研修指導員）



1 事業の目的

水辺の自然体験活動を行う方対象に、指導法や安全管理講習を通して、リスクの高い水辺のプログラムに対する知識や技能を高め、安全で楽しい水辺活動を実践する指導者の養成を目指す。

2 日程

7月16日(木)

12:30～13:00 開講式

13:00～15:00 講義「安全管理全般について」

15:15～18:15 実技「レスキュー実技」

※荒天時はロープワーク及びケーススタディ講習

18:15～19:15 入浴・休憩

19:30～21:00 夕食（情報交流会（1.5時間））

21:00～22:30 自由時間・就寝準備

22:30～ 就寝

7月17日(金)

6:30～8:00 起床・つどい・朝食・退所点検

8:00～12:00 実技「カヌーツーリング研修」

※荒天時は9:00～12:00 各危険場所確認(バス移動)

12:00～12:10 閉講式・解散

（活動の様子）



3 参加者の声

(1) 事業満足度

*満足：100%

*やや満足：0%

*やや不満：0%

*不満：0%

(2) 自由記述欄（抜粋）

- 安全に十分に気をつけて、子ども達に楽しいカヌー体験を提供していくことが大切だと学びました。
- レスキューにもいろいろな方法があることを知りました。時と場合に応じて瞬時に判断し、実践できるようにしていきたいです。
- 実技指導云々におよばず、親睦会における意見を聞くだけでも大いに役立ちそう。
- バディや指導者の皆さんのおかげでカヌー安全管理やツーリングの楽しさをしっかり学ぶことができました。まだまだ学ぶことや身に付けることもあります、一步一步向上していけたらと思います。とても楽しかったです。
- 今後も時期を変えて、年3回ほど実施して欲しい。
- 今後もこの事業を継続して欲しい。
- 丁寧な指導と準備であり、有意義に研修を受けることができました。

4 成果

- 今年度からカヌー指導者向けに技術面の向上や安全管理に関する学び直しをねらいに事業を実施したが、日頃からカヌー等の指導に携わっていても新しく体験した内容もあり、実りある時間となった。
- カヌーツーリングの実技として、道の駅（清流の里ひじかわ）下～大川清流キャンプ場の5kmコースのフィールドで実施した。平成30年7月豪雨（西日本豪雨）災害以降、上流域のカヌーツーリングの実施ができていなかったため、今回の上流コースを経験している者が少なく、今後のツーリングコースを設定する上で参考となる内容となった。
- カヌー指導者向けの講習会であり、当施設のカヌー研修指導員を中心に広報を行い、研修指導員4名、一般参加者4名の8名の参加となったが、当施設職員9名を含め、カヌー運搬にかかる配車やツーリング実技の隊列等の編成を考えると適当な参加人数であった。

5 課題と改善策

- 日程について、1日目午後～2日目午前までの設定であったため、講義や実技演習が限られる中で内容を厳選した対応となった。また、実施時期における天候について、15時以降のカヌー実技としたが、それでも日差しが強く、活動を行うには体力的な配慮が必要であった。これらを考慮し、全体的に今回設定した日程が参加者にとっては参加しやすい日程であったことから、今後も同じような日程でできる講座内容を検討していく必要がある。
- カヌーツーリング実技について、ツーリングの経験がある者が全体的に少なく、ツーリング中に瀬で沈をする者が多くいたことから、当初予定していたツーリング時間よりも長く時間をかけて対応することとなった。今後、ツーリングの経験が少ない者が多い時は、ツーリングの講義（座学）を加えてより理解を深めてから対応するなど、参加者の実態に合わせた内容を充実させておくと良い。

（担当：企画指導専門職兼事業推進係 大藤 毅）